

令和5年度 第2回学校運営協議会議事録

静岡北特別支援学校 南の丘分校

1 日時 令和5年7月13日(木) 午前10時から正午まで

2 参加者 校長、副校長、部主事、進路指導主事、教務課長
学校運営協議会委員 7人

| 氏名 | 役職 |
|----------------------------|----------------------------------------------------|
| 相羽 裕介 様 | 静岡市役所駿河区役所地域総務課地域防災係係長 |
| 石田 幸彦 様 | 富士見学区自治会連合会会長登呂二丁目自治会長 |
| 加藤 孝枝 様 | 南の丘分校PTA会長 |
| 炭田 直哉 様 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 静岡支部静岡職業能力開発促進センター 所長 |
| 田代 信一 様 | 静岡市駿河区保護司 (防犯予防担当・防犯予防副会長) |
| 野村 和代 様 (令和5年度コーディネーター) | 常葉大学教育学部講師 |
| 若狭 秀和 様 | 浅野・若狭法律事務所 弁護士 |

3 目的

南の丘分校の生徒の様子を知っていただくとともに、「地域と協働し、地域に貢献する」ために、「南の丘分校を知っていただく」活動状況や実施上の課題について協議し、より良い活動の推進につなげる。

4 内容

(1)校長挨拶

- ・前回の学校運営協議会では、学校教育目標、教育方針等について、新しい学校指導要領の中で新しい南の丘分校を目指し“めざす生徒像”の変更を行ったことについて説明をさせていただきました。
- ・今回は、南の丘分校を自らアピールしていくためにどのように広報活動を行っていくのがよいか、提案し、協議をしていきたい。
- ・令和5年度の1学期が終わろうとしているが、学校運営協議会委員の方々からの助言を力にかえて1学期のまとめをしたい。

(2)授業参観

2時間目：国語

3時間目：職業科(1年9月の職場実習に向けて、2・3年職場実習振り返り)



(3)授業参観後、質疑応答・感想等

- ・授業の参観は初めて。実習先での経験知を今後他者と共有できる物(実習日誌)や機会(報告会等)があるのはよい。
- ・社会は出てみないと分からない。実際に働き始めると、家族以外の人との関わりが増え、その中で人との関わり方を学んでいく。「職業科」の授業により、実習先での個人の体験をみんなと共有できる場になっていることは、とても有意義であると感じた。
- ・実習を体験することにより生徒は、「仕事とは」「働くとは」ということかを体感していると感じた。挨拶をする、働くための笑顔をつくることも社会で働くために必要なこと、そのための学びができていたと思った。
- ・わが子の学年以外の学習の様子を見ることができてとても有意義だった。1年生は適職について、2年生は実習を振り返って次にどう活かすか、3年生は将来に向けてどう準備するか、学年ごとの「職業科」のねらいが授業を見てよく分かった。
- ・「職業科」の授業では、教師の働き掛けやそれに対する生徒の反応等について見る事ができた。また、休み時間に実習の感想を聞いてみると、質問に対してハキハキ答える生徒ばかりで好感がもてた。
- ・実習の感想として、「職場の雰囲気がよかったことで仕事がとてもやりやすかった。」と述べる生徒がいた。人間関係が仕事をする上で大切な要素であると考えていることが分かった。
- ・1年生のうちから『キャリアパスポート』に取り組んでいることを知り、よい取り組みであると感じた。学年が進んでも学習の履歴が自分で確認できるツールになるとよい。
- ・1年生教室の廊下の掲示から、1年生がいろいろな仕事の種類として三つの産業について自分たちで調べたことをまとめる学習をしていることが分かった。
- ・社会で生活していく、働くために必要なマナーとして挨拶について取り上げ学んでいることが分かった。学校として大切にしている学びであることが分かる。
- ・今学んでいる学習や実習を通して、社会に出てから仕事にやりがいを感じて働ける人になってほしい。

<質問>

Q1.将来希望する仕事等について、本人は保護者や教員に相談しているのか。

A (進路課長回答)3年間6回設定されている実習の前後に保護者、担任と話し合う時間があり、学校としては、自分の適性についてじっくり考えるための学習や機会(個別に相談、進路面談)もある。

→保護者からわが子を見ると、入学したときは、どんな仕事があるか、何が自分に向いているのか全く分からない状態だったが、本人、保護者、学校の3者が適職について考え、納得した上で実習先を決めることができた。実習を繰り返す中で、自分が自信をもって取り組めること、自分の強みが見え、自分に合った働く環境も見えてきたと思っている。

(4)協議

「南の丘分校の広報活動について」区役所で流す予定の映像について観ていただいた後、質疑応答等

<質問>

- Q1.区役所の映像を流すスペースでは、椅子に座って観るスペースがあるか。 →ある。
Q2.いつ頃から映像を流す予定か。 →10/1~15の間の1週間程度
Q3.映像は流しっぱなしか。 →市役所が開庁している時間に流し続けることができる。

<意見>

- ・通して映像を見る場合、観ている側は、どの学校か、何の活動かが分からなくなってしまうので、分かるようにしたら観やすいように感じた。
- ・作業学習の5つの取組を「班」と言っているが、観る側からしたら「班」の意味が理解できないかもしれない。
- ・シークバーのような、データの現在の再生箇所を表示するようなものになると、今どの部分の映像なのかが分かる。
- ・アピールしたい製品をもっと画面の中に大きく入れられるとよい。
- ・校名や班名等を映像に入れることが難しいようであれば掲示や垂れ幕等を別で用意するのもよいか。
- ・伝えたい内容を掲示し、読めるものも用意した方がよい。
- ・作業製品の実物を展示することもできるか。
→できるが、手で触れられないようにしておく必要があるかもしれない。
- ・教えている大学生には、作業学習の理解が難しい。一般の方、南の丘分校を全く知らない方にとってはさらに作業学習って何だろう、どうして作業学習があるのか、何を目的にやっているのかが分かりにくい。これらの説明を入れると、各班で身に付く力とが繋がってくると思う。
- ・普段私たちが目にするスマートフォン等の情報機器の動画、映像に負けない見やすさや工夫などの魅せ方も求められる。

(5)まとめ、御礼の挨拶（校長より）

- ・今回の授業参観は、子どもたちの様子をよりじっくり見ていただきたいという意図から行ったもの。行って見て、学校運営協議会委員の方々の南の丘分校の生徒理解につながったこと、また分校の教育活動が目指すところを見ていただけたことと思う。
- ・区役所で流す予定の映像に対するアドバイス等は、今後取り入れていき、南の丘分校をより多くの方に知っていただけたものにしたい。